

広報むなかた むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページアドレス
http://www.city.munakata.lg.jp/
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行：宗像市 〒811-3492 福岡県宗像市東郷 1-1-1
代表：総務課 ☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集：情報政策課広報係
☎0940-36-1055 FAX 0940-34-2002

毎月1日・15日発行

今月の紙面から

平成23年3月15日号

機構改革のため市役所の窓口の場所が変わります	2~3
市職員の給与と職員数を公表します	10~12
バラエティー豊かな南郷の健康教室、「健康むなかた21」	24
結果速報 市の人口は9万5,481人、「2010国勢調査」	4
より提案しやすく 平成23年度市民サービス協働化提案制度	7
大島の魅力を伝える展示コーナーを設置、「世界遺産への道」	13
資源集団回収を始めませんか、「みんなで3R」	14
資格を取って再就職しよう、「メッセージ」	16
引越サービスをめぐるトラブルに注意、「転ばぬ先の杖」	23

1~12	13	14-15	16	17	18-19-24	19~23	23
行政	学びの里	環境	男女共同参画	カレンダー	健康・福祉	お知らせ	市民協働

みんなで何ができるか テーマは「子どもの居場所」

それぞれの立場で課題を出し合う

まちづくりに取り組む各団体が、対等の立場で前向きに議論する「まちづくり市民会議」を2月6日、市役所で開催。今回は「子どもの居場所」をテーマに、コミュニティ運営協議会、市民活動団体、市民、市職員らが「みんなで何ができるか」を議論しました。

「問い合わせ先 経営企画課 ☎(36) 1192」

参加者は、市や市民活動団体、各コミュニティの現在の取り組みについて説明を受けた後、5班に分かれて子どもの居場所に関する課題を議論。福岡教育大学教授の井上豊久さん(51歳)が座長、各団体をつなぐ中間支援組織として活動している「むなかた市民フォーラム」のメンバーが各班の進行役を務めました。付せん紙に思い付く課題を書き込む参加者。積極的に意見を出し合っています。班でまとめる際は、「メディアに触れる時間が長い」「親と子、地域とのコミュニケーションが少ない」「公園などの遊び場が少ない」「事業に関する情報が十分伝わっていない」などの課題が発表されました。



積極的に意見を出し合っている。班の意見をまとめる参加者

会議の成果を今後の活動に生かす

次は、いよいよ解決策の議論。各班で課題を解決するために「できること」を話し合いました。

「情報不足」という課題には「子ども向けの分かりやすい情報誌を作る」「人材不足」という課題には「高齢者の知恵を活用するための組織づくり」「子どもの生活に関する課題には「親は子どもの鏡、子どもは親の鏡」という認識をすること」など、各班からたくさんの方の解決策が発表され、情報を共有することができました。

参加した市民の永井智幸さん(43歳・自由ヶ丘)は、「コミセンは集合場所として利用しても、行事に参加することが少なかった。今日の会議を通じて、さらにアンテナを張って参加したい」。南郷地区コミュニティ運営協議会の高宮和廣さん(62歳・南郷)は、「今日話し合った内容を地域に持ち帰り、青少年育成部会にも生かしたい」と感想を話してくれました。

市では、今後もテーマを設定して「まちづくり市民会議」を開催します。無作為で選ばれた際は、会議への参加をお願いします。



班のまとめを発表する「あかにこクラブ」の松藤貴仁さん

福岡県知事選挙 福岡県議会議員一般選挙

- 投・開票 4月10日(日)
- * 大島・地島は4月8日(金) 繰り上げ投票
- 告示日 ▽県知事=3月24日(木)
- ▽県議会議員=4月1日(金)

【詳細記事8~9ページ】

問い合わせ先
市選挙管理委員会(総務課内) ☎(36) 1375

ごみ袋が変わります

市指定のごみ袋が、現在のロール式(1枚ずつ切り離すタイプ)から平織り式(1枚ずつ取り出すタイプ)に変わります。値段や大きさ、枚数は変わりません。

新しいごみ袋 (平織り式)



1枚ずつ取り出すタイプ

- * 現在の市指定ごみ袋も引き続き使用できます
- * 新しいごみ袋は、現在のごみ袋の在庫がなくなり次第販売を開始します

問い合わせ先 資源廃棄物課 ☎(36) 1421

たにい ブログ・フォト日記

広報紙15日号で毎月、市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/に掲載している市長ブログを紹介しています。
問い合わせ先 秘書課 ☎(36) 0890



世界遺産登録活動の抱負を語る藤本さん(右)

2月11日(金・祝)、東京の日経ホールで開かれた第2回「宗像・沖ノ島と関連遺産群」国際シンポジウムに出席しました。そこで、元競泳選手で俳優の藤本隆宏さんを2人目の「世界遺産応援大使」に任命し、委嘱状を交付しました。

藤本さんは、日里中学校の出身です。高校3年生の時に個人メドレーでソウルオリンピックに出場。早稲田大学の学生の時に出場したバルセロナオリンピックでは、400メートル個人メドレーで日本人初の8位入賞を果たしました。

その後、劇団四季に入団し、俳優活動を開始。最近では、NHKドラマ「坂の上の雲」で広瀬武夫中佐役を熱演し、今後の活躍がますます期待されています。

応援大使の任命式で、藤本さんと話をしましたが、気さくでとても素晴らしい人でした。今後は、この気さくで誠実なキャラクターと人気を生かして「宗像・沖ノ島関連遺産群」の世界遺産登録に向けて、PRをお願いします。